



# あかまつ

## 学校教育目標

深く考える子供  
明るく思いやりのある子供  
丈夫でたくましい子供

**重点教育目標** 「わかる できる つかえる 子供」の育成  
～「安全 安心 安定」のある学校をめざして～

## 一つの行事を通して培う力

新型コロナウイルス感染症による北海道の新規感染者が増加しています。北海道の冬は寒いため、ウイルスが活発になることや部屋を閉め切るために、感染者の増加にもつながっているようです。本校においても学級閉鎖の措置をとる学級も出ています。引き続き感染対策を徹底した上で、教育活動に努めて参りますので、引き続き感染対策へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、11月10日(木)の3年生を皮切りに、18日(金)の6年生まで、今年度の学習発表会を予定通り開催することができました。たくさんの保護者の皆様から、子供たちのがんばりに盛大な拍手をいただき、誠にありがとうございました。皆様の暖かい拍手のシャワーは、子供たちにとって充実した発表会につながり、大きな自信となりました。

学習発表会後の各学年通信には、子供たちのがんばりや苦労、喜びなど、学習発表会を通して成長した姿がたくさん書かれていました。その中で、5年生学年通信には、「練習を重ねるたび、指揮を見る目が力強くなり、みんなで一つの物をつくろうとする気持ちが芽生えてきました。また、楽器の後片付けなど自分のこと以外の仕事も、みんなで協力し合うなど、集団意識も更についたと思います。」と書かれていました。学年全員で1つのものを創り上げることの素晴らしさを感じることができるのも学習発表会のよさです。学校で目指す資質・能力の「協働(協力・やり遂げる力)」につながります。



また、学習発表会の取組の中で、6年生学年通信に、「下の写真は「6年生有志」の活躍の様子です。放課後、「さあ帰ろう!」という時、「〇年生の先生方、学習発表会の会場後片付けを行います。」という校内放送を聞いて「先生! 椅子の片付けでしょ? 手伝ってきても良いですか?」と、自ら申し出てくれた数名の子たち。そんな気持ちが育っていることもとってもうれしいです! しかも!! 「先生、すべての学年のお手伝いをしたいんですがやっても良いですか?」と更なるうれしい一言が。とってもステキな6年生です!」と書かれていました。さすが、6年生です。こんな6年生がいるから下級生は安心して学校生活を送ることができます。これも、学校が目指す「共生(人間関係形成力)」につながります。



「共生」「協働」の力は教えてすぐ身につくものではなく、今までの学習や経験を通して、子供自身が学び、身につける力いわゆる「自律」を基盤としてじっくり育てていく必要があります。教師は、子供たち一人一人のよさを伸ばし、「時には厳しく」「時には温かく」子供たちの成長をいつも見守り支えています。4月から「わかる できる つかえる 子供の育成」を目指し、「自律」「共生」「協働」の3つの資質・能力の育成を目指し教育活動を進めてきました。学習発表会という大きな行事を通して、子供たちは確実に成長しています。行事を通して培った様々な力を、次の目標へ生かしていけるように、今後も教育活動を進めて参ります。これからも、子供たちの『成長』を温かく見守り、支えてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

普段の教育活動の様子については七重小学校HPをご覧ください。毎日更新中>

<https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/category/501.html>

七重小学校

